

令和 7 年 11 月 30 日（日）
南部公民館展示室 2・3

下水道使用料改定説明会質疑応答記録

Q 1. 使用水量の多い企業などは、一般世帯よりも下水道使用料を多く負担すべきではないか。

A1. 犬山市の下水道使用料は、使用水量が多くなるほど単価が高くなる従量使用料制を採用しています。これは、使用水量が多いほど施設への負担が大きくなるため、処理単価も高くしているもので、全国の多くの自治体がこの制度を採用しています。

Q 2. 犬山市は不明水が多いと聞いたが、不明水の処理費用を、使用者が負担するのはおかしいのではないか。

A.2. 犬山市の不明水率は約 40% と高いことは課題の一つです。この不明水の処理費用のうち下水道である以上どうしても入ってしまう量（愛知県内においては 15%）については使用料負担、それを越える約 25% については税金で負担しており、すべてが使用者負担となっているわけではありません。